

令和3年第4回北海道議会定例会 予算特別委員会（第1分科会）開催状況（環境生活部所管）

開催年月日 令和3年12月10日（金）
 質問者 日本共産党 真下 紀子委員
 答弁者 環境生活部長 森 隆司
 環境局長 土肥 浩己
 環境保全担当課長 中尾 睦子

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 福島県の放射能汚染廃棄物のPCB処理について</p> <p>（一）説明・モニタリング等の実施状況把握について</p> <p>5月の環境生活委員会で、福島県の放射能に汚染された高濃度PCB廃棄物処理について、これまでのPCB処理とは全く違うものであり、住民理解が不可欠と指摘しました。環境生活部長は、国に対し、十分な説明や環境モニタリングの実施などしっかりした対応を求め、実施状況を確認すると答えていました。今月7日、国は、道に対して、処理を進めることへの理解を求める申し入れを行ったとのことであり、道は国の実施状況をどう把握し、しっかりした対応を国が行ったと判断するのか、伺います。</p> <p>（二）道の対応について</p> <p>そうであるなら、なぜ放射能汚染された廃棄物の持ち込みに対して、道民の大きな不安が払拭されていないのでしょうか。道は、大きな変更ではないと考えているのでしょうか。だから型どおりのことはやっとな、言うけれども、それでは道民の、住民の不安は払拭されていない、という事態です。</p> <p>だから住民説明会で、今も理解が得られていないのは、説明会の回数も少なく、国の対応にも不信があると考えます。</p> <p>拙速な判断はせずに、リスクも説明していくなどの慎重な対応が必要と考えるますが、いかがでしょうか。</p> <p>（三）対応の再検討について</p> <p>十分な対応をしているんだということを繰り返しておっしゃっているんだと思うのですが、原発事故はPCB処理の期限内処理にとって不測の事態が起きたんだと考えております。</p> <p>期限までにPCBを処理する重要性は理解しますが、放射能の影響がなくなるまで、管理するなど対応が必要と考えるが、やはりこれは再検討すべきではないでしょうか。</p> <p>PCB処理を受け入れる時より説明会よりも回数が少ないのは、住民の十分な納得は得られないと思いますが、いかがですか。</p>	<p>（環境保全担当課長）</p> <p>これまでの国の対応についてであります、国では、本件について、3月の監視円卓会議における説明以降、7月と10月の2回にわたり、処理方針や安全対策の考え方等の説明を実施したところ。</p> <p>また、国は、7月及び11月に計3回住民説明会を開催し、この中で、「放射性物質による内部被ばくを懸念しており、説明が不十分」といった不安や懸念を示す声や、「第三者が安全性を確認すべき」などのご意見等があったことを踏まえ、処理方針に反映させることを説明するとともに、環境モニタリングに関しては、処理方針において、法で定める測定に加え、住民の安全・安心の確保のため、定期的なバックグラウンド測定のほか、追加的な測定を行うこととしたものと承知しております。</p> <p>（環境局長）</p> <p>道の対応についてであります、道では、これまでも室蘭市とともに、国の責任による、地域住民の不安や懸念に寄り添った十分かつ丁寧な説明を求めてきたところであり、これを受けて国は、延べ6回にわたり、住民説明会や円卓会議などを通じて、地元住民のみならず、処理方針や安全対策の内容について説明を行ってきたものと承知しております。</p> <p>また、道では先月、室蘭市や学識経験者とともに、職員を現地に派遣し、対策地域内の高濃度PCB廃棄物の保管状況や放射線量等について現地確認を行ったほか、放射線科学や廃棄物処理に関する有識者の方々に、国の処理方針や、放射性物質による影響などについて科学的見地からのご意見も伺ってきたところでございます。</p> <p>（環境生活部長）</p> <p>対応についてであります、国からの説明では対策地域内の高濃度PCB廃棄物は、現在、他の災害廃棄物と合わせて仮置場に保管をされており、今後それらの廃棄物を処理できない場合は、仮置場を地権者に返還する時期が遅れ、復興の妨げとなること懸念されるところでございます。このため国では、放射性物質による影響がなく、安全性が十分確保されていることが確認できたものについて、JESCO北海道事業所におきまして処理する方針を示したものでございまして、住民説明会などを通じて、地元住民に説明を行ってきたものと承知</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(三) 一 再</p> <p>室蘭市が今日受入を表明する予定とのことですが、私は福島復興を支援することは重要だという考えに立っています。しかし、道民が不安を抱えていることが払拭されていない、そうであるならば、この仮置場での保管ね、国がちゃんと責任を持って、安全の納得がいくまで、国が責任を持って管理して、それまで、道は、慎重に対応すると、そういう選択肢もあるのではないのでしょうか。</p> <p>放射能は拡散しないことが、一番の安全対策ですよ、拡散させないと。だから、北海道にもってくることには私は賛成できないという立場ですけども、PCB処理という条件がありますから、それをよく勘案しなければならないけど、でも、住民の納得というのは最後まで追及すべきと言うことを申し上げておきます。</p>	<p>しております。</p> <p>道としては、こうした状況とこれまで実施してきた現地確認の結果や有識者からのご意見等を踏まえるとともに、地元室蘭市の意向も十分に確認した上で、総合的に検討してまいりる考えでございます。</p> <p>(環境生活部長)</p> <p>今後の対応についてのご質問であります。本件については、国の意向が表明されて以降、道と地元室蘭市から、国に対し、十分かつ丁寧な説明を求めてきたところでございます。</p> <p>これを受けて、国では監視円卓会議や住民説明会において、処理方針や安全対策の考え方などについて、地元の皆様に、説明を行ってきたものと承知しております。</p> <p>道といたしましては、地元住民の皆様から不安や懸念など様々な意見が寄せられていることに十分配慮をし、道自ら現地の状況を確認するとともに、第三者の立場から、有識者のご意見もいただいたところでございまして、こうした結果を勘案するとともに、地元室蘭市の意向も十分に確認した上で、検討してまいりたいという考えでございます。</p>